

厚生労働省和歌山労働局発表
平成 24 年 12 月 28 日（金）

担当	厚生労働省和歌山労働局
	職業安定部職業安定課
	長 木村 孝
	労働市場情報官 石川 正義
電話	073(488)1160

一般職業紹介状況（平成 24 年 11 月分）

有効求人倍率（季節調整値）は、前月より 0.03 ポイント上昇の 0.86 倍で、2 か月連続で前月を上回った。

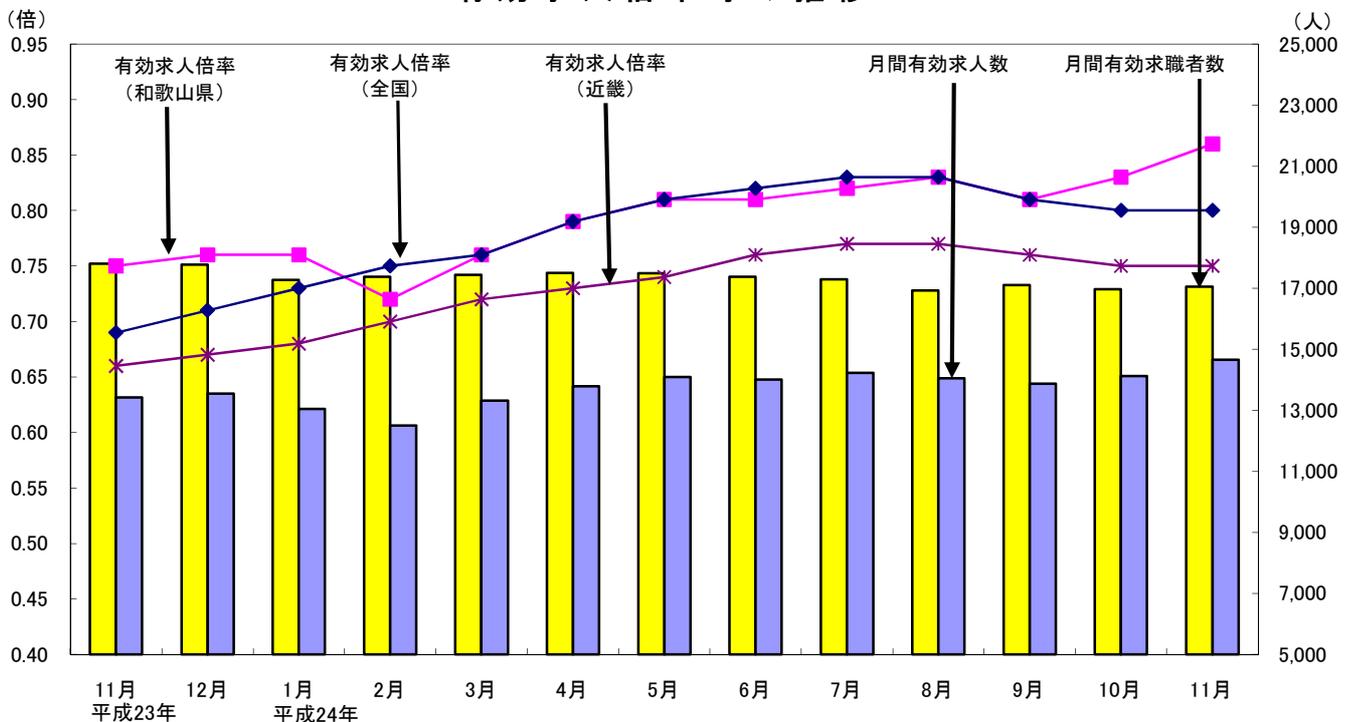
全国の有効求人倍率（季節調整値）は 0.80 倍で、前月と同水準。

近畿の有効求人倍率（季節調整値）は 0.75 倍で、前月と同水準。

新規求人倍率（季節調整値）は 1.48 倍で、前月より 0.06 ポイント上昇。

- ◎ 新規求人数（原数値）は対前年同月比 7.2% 増。
- ◎ 新規求職者数（原数値）は対前年同月比 6.1% 減。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より0.06ポイント上昇の1.48倍で、2か月連続で前月を上回った。

全国の新規求人倍率(季節調整値)は1.31倍で、前月より0.02ポイント上昇。

近畿の新規求人倍率(季節調整値)は1.27倍で、前月より0.04ポイント上昇。

有効求人倍率(季節調整値)は0.86倍となり、前月を0.03ポイント上回った。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より0.05ポイント上昇の0.46倍で、29か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

- (1) 新規求人数(原数値)は5,792人で、前年同月比7.2%増(5か月連続増)となった。
有効求人数(原数値)は15,189人で、前年同月比9.9%増(8か月連続増)となった。
- (2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、
「宿泊業,飲食サービス業」(186人増)、「教育,学習支援業」(138人増)、「情報通信業」(56人増)、「医療,福祉」(55人増)、「農,林,漁業」(43人増)などで増加し、「製造業」(122人減)、「運輸業,郵便業」(35人減)などは減少した。
- (3) 一般、パート別で新規求人の状況を見ると、一般求人数は2,984人で前年同月比3.7%増、パート求人数は2,808人で前年同月比11.1%増となった。

3 求職者の動き

- (1) 新規求職者数(原数値)は3,564人で、前年同月比6.1%減(2か月ぶり減)となった。
有効求職者数(原数値)は16,357人で、前年同月比3.7%減(20か月連続減)となった。
- (2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は735人で前年同月比0.8%減(3か月ぶり減)、離職者は2,266人で同1.1%増(2か月連続増)となり、離職者のうち事業主都合離職は579人で同8.0%増(2か月連続増)、自己都合離職は1,554人で同2.2%増(2か月連続増)、また、無業者は504人で同32.3%減(12か月連続減)となった。
- (3) 雇用保険の受給者実人員は4,290人で、前年同月比5.3%減(4か月連続減)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は1,643人で、前年同月比3.2%減(3か月ぶり減)となった。

5 まとめ

原数値で見ると、前年に比べ、新規求職者は2か月ぶりに減少となり、有効求職者は20か月連続で減少している。また、求人の動向をみると、新規、有効とも連続して増加していることから、有効求人倍率(季節調整値)は2か月連続で前月を上回った。雇用情勢は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きが続いている。